

地域資源を活用した創造活動拠点：新・福寿荘の取り組みと
西成特区におけるアートの振興策について



2012年8月21日
大阪市立大学都市研究プラザ
雨森 信

Breaker Project 2003-

「芸術の役割」を再考し「芸術と社会の生きた関係」を再構成するための実践

大阪市の文化事業として2003年にスタートした地域密着型アートプロジェクト

Breaker Project 2003-

芸術と社会をつないでいくことで文化芸術の裾野を拡大し、市民一人ひとりの創造力を掘り起こしていくことを目的とし、多様な価値観が共存する持続可能な地域社会を創造してゆくことをめざす

プロジェクトの背景

大阪市芸術文化アクションプラン／大阪現代芸術祭 (2001～2005)

市民ひとりひとりが真に豊かな生活を享受できる都市環境の確立

大阪市では、真に効果的な文化行政を実現するため、2001年から10年間の期限を限って、実践的に推進体制を模索する取り組みとして『大阪市芸術文化アクションプラン』を展開。本プランは単なる計画ではなく、理念を実際のプロジェクトとして展開し、またプロジェクトの体験を理念にフィードバックすることをめざした「**芸術文化のパイロット事業**」です。

創造型の文化事業 「支援」から「投資」…未来への文化投資へ
「文化の消費」から「文化の生産」へ

4つのプログラム展開

- **トップアップ**／表現者 ・ 大阪市アーツアポリア事業 (赤煉瓦倉庫)
 - ・ 大阪現代演劇祭
 - ・ 新世界アーツパーク事業 (フェスティバルゲート)
- **ボトムアップ**／鑑賞者 ・ 芸術まちづくり事業

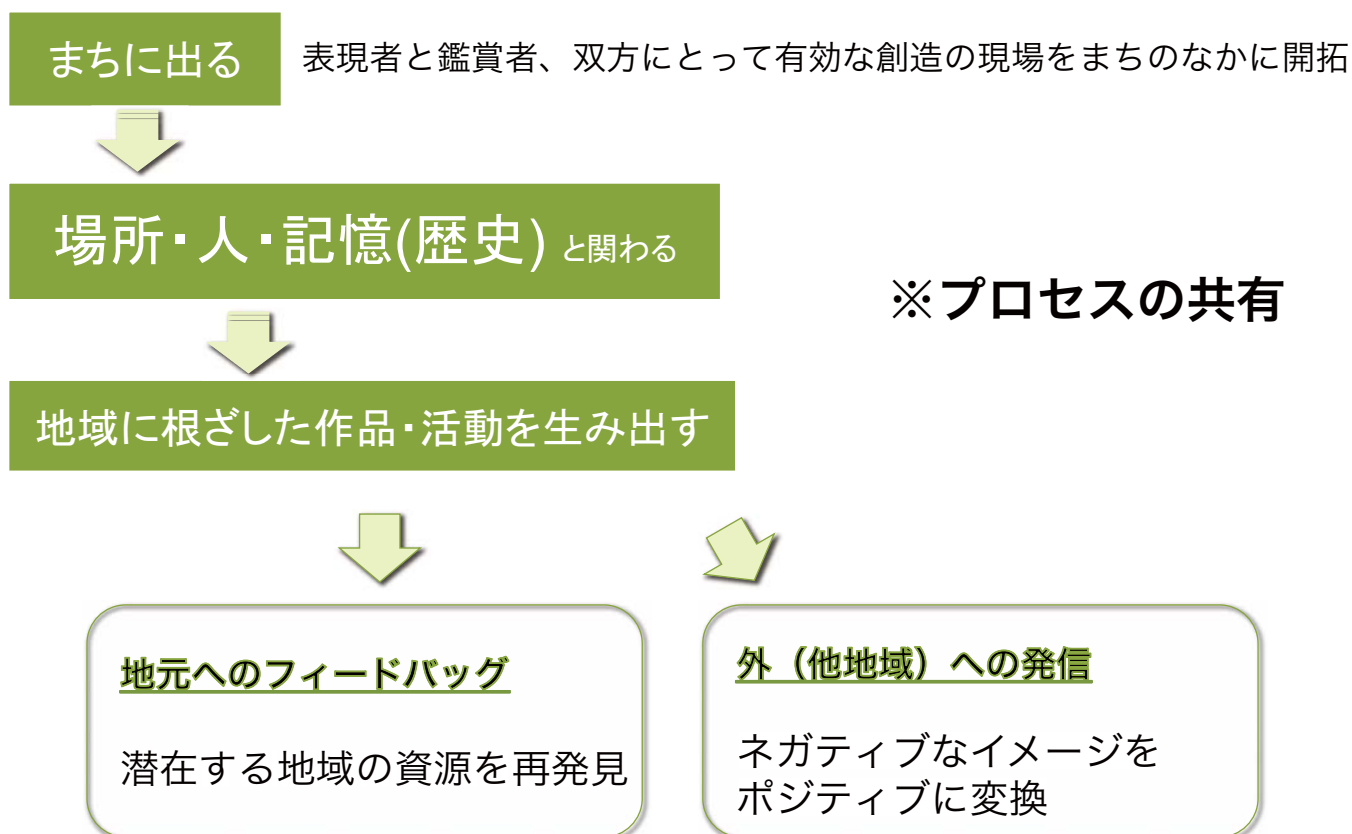
プロジェクトの背景

大阪市／大阪現代芸術祭
芸術まちづくり事業

地域における身近な鑑賞機会の提供と表現者の相互間および市民との交流を促進することによって芸術活動の奨励及び普及を図り、将来の大阪文化の発展をめざしていきます。

- ・ フェスティバルゲート市民還元事業 … **Breaker Project**
- ・ 大阪AISフェスティバル … クラシック音楽
- ・ 伝統芸能再発見シリーズ
- ・ 映画の再発見シリーズ

地域密着型 アートプロジェクトの手法



地域密着型 アートプロジェクトの手法

プロセスの共有

- **サイトスペシフィック**（場所を使う／風景を変える）
- **フィールドワーク**（取材／素材を収集する）
- **参加型**（住民が主体的に制作活動に参加する）
- **連携**（地域の施設や組織と協働…地域コーディネーターの発掘）

Breaker Project 活動エリア 2003-

2003/2004 Breaker Project

2005 art school

2006 art in the city

2007 publicなartの実践

2008 まちが劇場準備中

2009/2010 絶滅危惧・風景

2011-2013 ex・pots



サイトスペシフィック（場所を使う／風景を変える）

“Urban Concern Osaka” Franck Bragigand, 2004



サイトスペシフィック（場所を使う／風景を変える）

「まちが劇場準備中」 藤浩志 2008



プロジェクト拠点: MaMeGeKi 新世界市場・元煮豆屋

飛田会館3F



「まちが劇場準備中」 藤浩志, 2008



まちかざりの実験：デコポリ
「hangart」 @新開筋商店街
福永宙, 2008, 2009

